## 2020 年度国際共同研究採択一覧

\* 所属機関・職名は申請時のとおり

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
中井 太郎	國立臺灣大學	助理教授 (Assistant Professor)	檜山哲哉	東シベリア・カラマツ林の生態水文学的 プロセスのモデル化
中澤 知洋	名古屋大学	准教授	田島宏康	次世代雷観測衛星 TARANIS と日本付近の雷からのガンマ線・電磁界地上観測の融合研究
笠羽 康正	東北大学	教授	三好由純	ハワイ展開する小口径光赤外望遠鏡群と 電波望遠鏡群・軌道上望遠鏡群・惑星探 査機の連携による木星・火星・金星大気 上下結合の研究:その2
中村 琢磨	オーストリア 科学アカデ ミー	常勤研究員	梅田隆行	磁気圏尾部リコネクション過程における ジェット先端領域の安定性
西澤 智明	国立環境研究所	室長	水野亮	地上ライダーネットワークによる南米エア ロゾル観測研究の強化
宮下 幸長	Korea Astronomy and Space Science Institute	Senior Researcher	三好由純	ERG衛星と低高度衛星の連携による内部 磁気圏におけるサブストームに伴う変動 の研究
野村 麗子	自然科学研究機構 国立天文台	特任研究員	能勢正仁	米国観測ロケット実験LAMPに搭載の磁気インピーダンス(MI)センサの研究開発
大矢 浩代	千葉大学	助教	塩川和夫	Tweek空電を用いた高精度な自動下部 電離圏反射高度マッピングシステムの開 発
島 伸一郎	兵庫県立大 学	准教授	坪木和久	超水滴法に基づく雲と降水の精密シミュ レーションに関する国際共同研究の推進
野中 敏幸	東京大学	助教	松原豊	宇宙線空気シャワー観測装置の惑星間空間擾乱の観測への利用方法の研究
Nishiizumi Kunihiko	University of California, Berkeley	Senior Space Fellow	南雅代	隕鉄中の宇宙線生成核種14Cの測定

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
門叶 冬樹	山形大学	教授	三宅芙沙	第25太陽活動期に向けた極域から低緯 度までの大気中宇宙線生成核種の濃度 変動の観測研究
池田 昭大	鹿児島工業 高等専門学 校	講師	能勢正仁	シューマン共鳴多点観測による雷活動・ 電離圏変動の調査
浅村 和史	宇宙航空研究開発機構	准教授	三好由純	観測ロケットを用いた高エネルギー電子 マイクロバースト現象の成因の解明
笠原 慧	東京大学	准教授	平原聖文	Comet Interceptorミッションのための搭載機器・システム設計
土屋 史紀	東北大学	助教	三好 由純	北欧・北米における高エネルギー電子降下現象の総合解析のためのVLF/LF電波伝搬観測
Kato Chihiro	信州大学	教授	徳丸宗利	改良された汎世界的宇宙線観測ネット ワークによる宇宙天気の観測II
Terao Toru	香川大学	教授	藤波初木	多様な水文気候学的地域特性が駆動するアジアモンスーン変動に迫る国際共同研究
坂野井 健	東北大学	准教授	平原聖文	将来小型衛星FACTORS搭載可視高速 撮像装置の設計と開発
尾花 由紀	大阪電気通 信大学	准教授	塩川和夫	機械学習を用いた磁力線共鳴振動周波 数の自動同定とプラズマ圏長期モニタリ ング
細川 敬祐	電気通信大 学	教授	大山伸一郎	ロケットと地上光学観測を組み合わせた 脈動オーロラの総合観測
成影 典之	自然科学研究機構 国立天文台	助教	田島宏康	太陽フレアによる高エネルギープラズマ の生成メカニズムの理解
平原 靖大	名古屋大学	准教授	水野亮	ALMAアーカイブデータ解析による太陽 系内天体大気の物理化学プロセスの解 明

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
横田 勝一郎	大阪大学	准教授	平原聖文	飛翔体用荷電粒子分析器の視野掃引及 び高エネルギー質量分析機能の開発
小島 浩司	愛知工業大 学	客員教授	徳丸宗利	宇宙線をプローブとした太陽風とIMFの 断層撮像的観測
高橋 透	情報・システム研究機構 国立極地研究所	外来研究員	野澤悟徳	オーロラパッチ内部の分極電場
藤原均	成蹊大学	教授	野澤悟徳	太陽活動極小期における北極冠域熱圏・ 電離圏変動の研究
川原 琢也	信州大学	准教授	野澤悟徳	北極域ナトリウムライダー中性大気温度・ 風速計測の拡張観測:中間圏界面(80- 115km)から下部熱圏領域(< 200km)へ
津田 卓雄	電気通信大 学	助教	野澤悟徳	トロムソにおけるオーロラ・大気光の光学 スペクトル観測を活用した超高層大気研究